

# げんきっ!NPO

NPOとは営利を目的とせず社会活動をする組織です



## ◆第17回市民活動わくわく広場inとんだばやし(ひろとん) ~笑顔で元気な市民活動 持続可能なチャレンジを!~

市民活動わくわく広場inとんだばやし(ひろとん)は、市内を主な拠点とし、いろいろな分野で活動をしている市民公益活動団体が、それぞれの活動内容を発表する場です。

今年度は、新型コロナウイルス感染症への対策として、昨年度に引き続き、市内でパネル展示を行います。詳しくは、「ひろとん」特設ウェブサイト[<https://hiroton.jimdofree.com/>]をご覧ください。



## ◆市民公益活動支援センターを通してつながろう

市民公益活動支援センターは、町会・自治会などやNPO、ボランティア団体など、非営利で公益的な活

動をする団体が利用できます。団体の設立・運営に関する相談のほか、登録団体には備品の貸し出し、市内施設の会議室が利用できるようになるなど、いろいろなサービスを提供しています。

また、人や団体のマッチングも積極的に行っています。他団体とつながることで、日頃の活動の中で抱える課題の解決や、新しいアイデアが生まれるかもしれません。同センターでは「ひろとん」だけでなく、いろいろな交流会や講座、相談なども実施しています。

団体登録は随時受け付けていますので、ぜひご登録ください。

### 市民公益活動支援センター

住所 小金台2丁目5の10 (エコー・ロゼ平面駐車場南東沿い)

電話番号 ☎(26)7887

開館時間 祝日を除く、月~金曜日、午前9時~午後9時

ホームページ <https://www.tondabayashi.org>

LINE公式アカウントID @070ehqtc

人権・市民協働課 (内線473)

みんなで乗って守り育てよう



## ●富田林市内を運行する地域公共交通について

地域公共交通とは、地域住民の日常生活における移動などのために利用される鉄道や路線バス、タクシーなどをいいます。市内には、鉄道は近鉄長野線が本市の南北に運行し、本市の西部には南海高野線が運行しています。路線バスは本市の西部に南海バス、中央地域に近鉄バス、東部に金剛自動車が運行しています。また、近鉄富田林駅と金剛連絡所を結ぶレインボーバスも運行しています。

## ●南海バスの路線バスについて

市内を運行する地域公共交通のなかで、今回は南海バスが運行する路線バスを紹介します。南海バスは南海高野線金剛駅東側ロータリーを発着し、向陽台・藤沢台方面や津々山台・小金台方面、寺池台・高辺台方面などの9系統を運行しています。運賃の支払いには、現金や「PiTaPa」・「ICOCA」などの交通系ICカード、南海バスのプリペイド式ICカー

ドである「なっち」が利用できます。

●南海バスで勤務している人にお話を聞きました  
コロナ禍の運行においてどのようなことに気を付けていますか？

コロナ禍において働き方や生活様式に変化が生じてきたことによりバスの利用者はコロナ前に比べて減少しており回復の兆しは見えませんが、公共交通を担っている使命として路線や便数の維持・確保に努めています。新型コロナ対策として、乗務員の検温や手洗い・うがいおよびアルコール消毒の励行、マスクの着用などを行うとともに車内換気を行い、快適な車内空間の確保に努めています。また、バス車両には抗菌・抗ウイルス加工を施しており、安心してご利用いただけます。

利用者へのメッセージをお願いします。

高齢化が加速していく中で、運転免許を返納された高齢者の皆さまの移動手段としてバスをご利用いただける身近な存在であり続けたいと思っています。これからも南海バスは地域の皆さまの生活交通として、安全・安心なバスの運行に努めてまいります。

道路交通課 (内線416、417)

山洋を通してより多くの人が  
喜びあえる企業にしよう



### 株式会社山洋

山洋は綿棒一筋54年の綿棒メーカーです。一般家庭用から化粧用、医療用、精密機器清掃の工業用綿棒まで幅広く製造・販売しています。

昨今では検査用、手術用などの使用シーンも増え、常に新分野へチャレンジしています。

皆さんは綿棒といえばどのような容器を思い浮かべられますか。丸い筒の容器に入った綿棒ではないでしょうか。



今でこそよく見かける丸筒容器入り綿棒、その商品は1983年に弊社が世界で初めて製造してヒット商品となり、今では綿棒のスタンダード容器となっています。現在は綿棒の国内シェア約40%、綿棒国内トップメーカーとして走り続けています（インテージ調査：SRI

#### ●会社概要

所在地 中野町東二丁目2の6  
代表者 中谷 洋、日比 努  
従業員 140人  
創立 昭和42年4月



雑貨綿棒市場（一般用綿棒）金額シェア2019年度（2019.04-2020.03）。

#### 山洋のこだわりが詰まった綿棒

主力商品の『こだわり綿棒シリーズ』は「より良い商品を、より心地よく」をめざし、この富田林の地で『こだわり』を持って製造しています。

#### 富田林市との取り組み

こだわり綿棒シリーズは「富田林ブランド」に認定され、「とんだばやしふるさと寄附金」の返礼品に登録されました。また、万一の場合、富田林市からの供給協力要請に可能な限り応じられるよう「災害時における物資の供給協力に関する協定書」を締結しました。

山洋はこれからも、お客様に喜んでいただける商品づくりに誇りと自信と責任をもって、人に地球にいいものを作り続けます。

商工観光課（内線481）



## 下水道事業

### ～快適で衛生的に暮らすために必要な下水道～

#### ●下水道整備工事もついにクライマックスです

市民の皆さんのご理解とご協力により、令和2年度末時点での下水道普及率が93.6%となり、現在は市街化調整区域を中心に下水道整備工事をしています。今後、未だ整備されていない地区の皆さんにご意向を伺いながら、令和6年度を目途にいったんは整備事業の区切りを考えています。以降については、下水道施設の老朽化対策や地震化対策などを中心に、事業を行っていきます。

#### ●内水はん濫ハザードマップの活用を

本市では、「内水はん濫ハザードマップ」を作成しており、市ウェブサイト（下水道課のページ）からご覧いただけます。



近年、ゲリラ豪雨や台風などによる大雨で、雨水が水路や下水道などに一挙に流入し、雨水処理能力を超

えてあふれる「内水はん濫」が発生しています。

同マップは、内水はん濫による浸水被害の想定区域や、避難場所などの情報などをお知らせするとともに、自助・共助・公助や防災意識の向上、浸水に対する備えに活用していただくものです。危険な箇所を確認するとともに、内水はん濫による浸水被害へのいざという時の備えをしておきましょう。

#### ●公共下水道における汚水処理の現状と課題

本市の公共下水道は、家庭などのお風呂や台所、トイレで使用した水（これらを汚水といいます）と雨水を分ける分流式を採用しています。汚水は、汚水管を通過して、水みらいセンター（下水処理場）まで運ばれ、きれいな水に処理して川などに流しています。一方、雨水は雨水管や道路側溝などを通して、直接、川などに流しています。

しかし、いろいろな要因で汚水管に雨水が流れ込み、雨天時には同センターの処理能力を圧迫しています。

本市では汚水管に雨水を流入させない取り組みを実施していきますので、市民の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

下水道課（内線262）